

質 問 者	氏 名	質 問 事 項
議 席	氏 名	
5	中河つる子	<p>1 行政のデジタル化の開始に伴い、町民の個人情報を守れるのか</p> <p>「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」により本町も令和7年度にDXプロジェクトチームを立ち上げ、今年度は庁内の業務の進め方や情報共有の在り方を具体的に転換していく年度としているが、以下の点について町長の考えを伺う。</p> <p>(1) 国は自治体基幹業務の20業務を対象に「国が策定した標準準拠システムに移行する事を義務付けた」とあるが、それぞれの業務は、どの部署で担当しているのか。</p> <p>(2) これらの20業務には町民のどのような個人情報が含まれているのか。</p> <p>(3) これらの20業務は、今年4月以降システムの標準化がされることとなっているが、予定どおり進んでいるか。</p> <p>(4) 3月の予算委員会での質疑で、「個人情報の流出の恐れはない。」と答弁があったこれらの業務の保守については専門業者に委託しているが、個人情報の流出の心配はないか。町民の個人情報を守るために委託だけではなく、業務に精通した町職員も専門人材として採用する必要があると思うがいかがか。</p>

質 議	問 席	者 氏 名	質 問 事 項
4	川 上	均	<p>1 合同墓アンケート調査の今後のスケジュールを問う</p> <p>お墓の維持に悩む高齢者やその家族の不安を解消することは、移住定住や『町民が安心して最期まで暮らせるまちづくり』に直結するテーマとして大変重要と考える。3月の予算審査特別委員会の質問に対して答弁のあった本年度実施予定の終活活動調査として実施する合同墓アンケートについて、実施時期、対象者、調査方法及び結果の活用方針を含め、合同墓整備に向けた今後のスケジュールについて町長の考えを問う。</p> <p>2 町職員の定年退職者の再任用及び65歳以降の再雇用の考えを問う</p> <p>本町においては、定年年齢を令和5年度から令和13年度にかけて段階的に65歳まで引き上げる公務員の定年延長制度を運用中であるが、引き上げ期間に定年年齢に達した者を65歳到達年度の末日まで任用する「暫定再任用制度」についてはこれまで運用されていない。</p> <p>この制度は、国の年金制度の段階的65歳支給までの無年金期間への対応と、職員補充が進まない現状を補うのが目的とされている。</p> <p>新たな町政運営のもとで制度導入への関心が高まる中、本町における定年延長制度の現状と課題、今後の運用方針及び65歳以降の再雇用に対する考えについて町長の考えを問う。</p>

質 問 者	議 席 氏 名	質 問 事 項
		<p>3 新しくりんセンター建設工事における負担金の見通しを問う</p> <p>新しくりんセンターは、令和9年(2027年)11月中旬からの試運転及び令和10年(2028年)4月1日の供用開始に向けて、総事業費約535億円という十勝全体の超巨大プロジェクトであり、本町にとっても将来の財政を左右する極めて重要な事業となっている。</p> <p>供用開始まで残り2年を切る中、近年の資材高騰や労務費の上昇による総事業費の増額や事業計画の変更に関する協議の現状と、現時点における工事進捗率及び今後の負担金の見通しについて伺う。</p> <p>4 会計年度任用職員活用の考えを問う</p> <p>現在、特に個人情報扱う業務における会計年度任用職員の配置が進められている。多量かつ複雑な業務を担う現場における貢献は大きい。</p> <p>しかし、一方で町民からは「個人情報の取り扱いへの不安」、「業務の継続性に問題はないのか」といった、雇用形態の違いに起因する不安の声が届いている。</p> <p>会計年度任用職員の配置の目的と期待される効果、個人情報保護や業務継続性の確保に向けた対応について町の認識を伺う。</p>